

小倉山通信

平成28年6月29日

角館中学校ホームページ http://www.city.semboku.akita.jp/sc_kakuchu/
 角館中学校ブログ <http://19850424.at.webry.info/>

No.13 通巻57

学校評議員会開催

6月28日(火)、学校評議員会を開催しました。評議員の皆さんは次のとおりです。

佐々木 健 氏 (会社員)
 今井 智幸 氏 (角館高等学校長)
 田口 桂一郎 氏 (角館小学校長)
 齋藤 聖士 氏 (中川小学校長)
 柴田 衛 氏 (白岩小学校長)

今年度の評議員を依頼するときに、小中高の連携も視野に入れて、ということで、角館地区の高校長、小学校長に依頼しました。

5校時の授業参観を行った後、会議室にて評議員会を行いました。

最初に自己紹介、次に校長あいさつ、学校経営についての説明を校長、研究主任、生徒指導主事、生徒指導専任から行いました。そして授業感想、克服すべき事項についてご助言を得ました。概要を紹介いたします。



○佐々木氏

英語の授業(3年生)で、速読し、時間内に読むことができるようにする、というのを初めて見た。とても興味深かった。社会の授業(3年生)では、教師と生徒とのやりとりが脱線気味だったが面白かった。ある授業では意欲が減退している生徒に教師が手をかけて、促している場面もあり、先生方のきめ細かい指導があった。



○今井氏

はじめに、質問をお願いしたい。「支援員の仕事は」—これについては、本校教頭が回答した。次に、「栄養教諭」の仕事について。—このことについては、角館小校長が説明した。「特別支援学級について」—このことについては校長が説明した。

英語の授業では課題解決型の課題が提示されてい

て活用されていた。生徒指導主事から説明があったように、授業での学び合いの中に生徒指導の三機能(自己決定、自己有用感、共感的触れ合い)が組み込まれていることを目の当たりにした。素晴らしいことである。

○田口氏

6点について。5点が良かったところ、1点が課題である。

- (1) 総体後まもないが、生徒は切り替えて、授業に集中しているのを感じた。
- (2) 生徒・先生方の表情が良かった。笑顔があった。
- (3) 授業では校長の方針に基づきボトムアップの意識が見られ、生徒の発言を大事にしていこうとする姿勢が見られた。
- (4) 男女の自然な関係、お互いに分からないことを聴き合っている姿が見られた。
- (5) 板書が精選されてきている。授業の流れやノートづくりにも影響してくるが、見やすい板書であった。
- (6) 生徒指導の三機能の自己有用感、自尊感情が角館小学校児童の場合は低い。全国学力学習状況調査の児童質問紙でも数値として表れてきている。そのために、本校では特別活動に重点的に取り組み、自己有用感をもたせるようにしている。本校から卒業している生徒のほとんどが角館中学校に在籍するので、おそらく同じ現象が現れていると思うので、自己有用感を感じさせられるよう、一層の配慮をお願いしたい。

○齋藤氏

授業の中での関わり合いが、バランス良く見られた。生き生きと学習に取り組んでいる。そしてそれが自然な関係を出している。

中学校の授業のイメージは、先生が教えて、それを生徒が学ぶ、というのであったが、今日の授業は、そのイメージからの変容が見られた。小学校の学習形態に近い学習スタイルであった。

私も英語の速読、17秒で1ページを読む、というのは面白いと思った。体験が大事だと思った。

郡市総体の壮行式を6年生と一緒に見せてもらったが、角中が一体化している様子が分かった。本校出身の生徒が壮行式で立派に入場してきたのには、感動したし、彼らの居場所をきちんとつくってくれた中学校に感謝したい。

○柴田氏

1年生は中学生らしい顔をしていた。2年生は落ち着いた顔をしていた。3年生はこなれていた。

校長先生の方針である学び合いが浸透している。体育の時間は触れ合いの時間が良かった。大人数なのにあのような触れ合いタイムを設けてもらえると、多数の仲間と触れ合うことができてよい。音楽の時間は、ピアノを囲んで先生からみんなが見える、みんなもみんなを見ることができ、そういう私の大

好きな学習形態であった。国語の時間では、筆で書いた俳句を味わっていた。数学では、1対1の個別指導であったが、生徒が大事にされていた。また生徒がとても明るく学習に向かっていた。

この後、克服すべき点について、柴田氏から提案があった。

「小規模校では、学習規律に関して、少なくともきちんと挙手したり、起立したりして発表を行っている。これがあまりにも強すぎると授業のムードが堅くなる。さりとて、先生の質問に、すぐに座ったままでしゃべるのは良さそうに見えて、わいわいがやがやに陥ることもある。ただ、ムードは柔らかくなる。このことに関して角館中学校ではどのようにしているか」

奈良研究主任が次のように答えました。

「本校では学習規律に関しては、きちんと挙手をして起立して発表する、ということにしている。ケースバイケースであるが、基本姿勢としては、挙手一発表一着席ということにしている。」

今井氏からSNSに係る人間関係のことについて提案がありました。

「生徒たちは幼い頃から兄弟げんかや地域との子どもたち同士の関係で、けんかをしたり修復をしたりを繰り返し、人間関係を築いてきた。しかし、今の生徒たちは地域に子供が少なく、また兄弟も少ない家庭が多い。そういう生徒が高校に入学すると、自分は傷つきたくない、相手も傷つきたくない、ということで無関心の関係になることがある。生徒同士のいさかいに遭遇したとき、同じ年齢でも上下関係があることがある。子供のけんかに、子供同士で解決できなくて、大人が介入し、更に悪化することがある。この辺のことをどう考えているか。」

多数の校長から各校の現状が述べられたが、理想は、子どもたち同士の関わり合いは子どもたち同士で解決することが望ましい、ただ、命に関わる問題については大人の介入もやむを得ない、でした。

「折り合い」をつけることが、特別活動の大きなねらいの一つでもあるので、角館小学校で取り組んでいる特別活動を推進すること、学び合いを更に進めていくことが人間関係の構築に大きな影響を与えているので、これを更に推進していくことが必要である、となりました。

評議員の方々にはご繁忙中にもかかわらず貴重なご指導・ご意見をいただき、誠にありがとうございました。

紅駿サミット開催

6月23日(木)に、3年生の紅駿サミットがありました。テーマは「総体を終えて」です。

○3年A組 蓮沼千怜さん

女子卓球部は団体が3位、個人は3人が県大会へ出場することができました。団体では、最後まで声を出して粘ったプレイができて良かったです。個人3人は県でも力を尽くし、粘り強い試合をしていきたいです。

○3年B組 菊地芹佳さん

女子ソフトテニス部は、総体で残念な結果に終わってしまい、悔しかったです。高校に進学してもソ

フトテニスが続けたいと思います。高校では悔しい思いをしたくないのでこれからも頑張っていきたいです。

○3年C組 草薨皓太さん

男子卓球部は、一日目予選を2位通過して、神代と大曲に負け、中仙と美郷に勝って2勝3敗で結果は4位で、団体では県大会出場できませんでした。個人で行くことになった藤田龍聖さんには、全県に行けなかった部員の分までしっかり頑張ってきてほしいです。

○3年D組 木村拓人さん

今回の団体戦では、全県に行けなかったのですが、個人戦で龍聖さんが行けたので良かったです。最初に真面目に練習していればみんなで全県に行けた気がするのですが、最初真面目に取り組まずに、後悔しています。

感想発表は次の2名です。

○3年A組 猪本芽吹さん

さっきの発表を聴いて、全県に行くことができた部活は優勝を目指して頑張ってきてほしいと思いました。僕たち野球部は、全県に行くことができなかったのも、今度からは勉強を頑張りたいと思います。

○3年C組 進藤凜さん

運動部の皆さんは最後の郡市総体が終わり、様々な気持ちがあると思います。全県大会へ行く人たちは全県でも良い結果が出せるように頑張ってきてほしいと思いました。オーケストラ部もこれからコンクールがあるので、コンクールに向けて頑張っていきたいと改めて思いました。

この後、大河主任からお話がありました。最初に県展に入選した3名の美術部員の紹介と科学部の齋藤憲三賞認定の紹介がありました。

7月の行事

- 1(金)学校安全日、2年生専門学校訪問(盛岡市)
- 3(日)PTA授業参観日・親子活動
- 4(月)7月3日の振替休業日
- 5(火)3年実力テスト
- 6(水)県総体・オーケストラ部壮行演奏会
- 7(木)2年租税教室
- 8(金)漢字検定
- 9(土)県南吹奏楽コンクール
- 11(月)仙北警察署員による防犯教室
- 12(火)校内授業研究会(社会・技術)
- 13(水)仙北市教育委員訪問
- 14(木)ようこそ先輩
- 15(金)専門委員会、PTA整備部花壇作業15:00
- 16(土)県総体～18日
- 20(水)職員会議
- 21(木)樺細工教室16:30～
- 22(金)夏休み前集会
- 23(土)夏季休業～8月22日(月)、通信陸上(大館)～24日
- 27(水)大曲仙北教育研究大会、富士川口湖町との交流～29日